

12-1 中学校 総合的な学習の時間 指導事例
「地域の伝統や文化をよりよいもので継承しよう」

【単元目標】

地域にある伝統や文化を知り、他の地域の伝統や文化と比べて、よりよくするために必要な課題を考える過程から、地域に対する自分の考えをもつことができる。

【目指す子どもの姿】

地域の中で、自分ができていることを考え、他の人との協議から考えを深めていく姿

1 本単元の流れと「政治的教養を育む学びのプロセス」との関係

学 習 活 動 (全11時間)	ポイントになる学びのプロセス
<p>地域を知り、伝統や文化に関するよさや思いを知る③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域を探訪し、地域のよさを発見する。 ・自分の地域の伝統に関わった人々の願いや思いを知る。 	
<p>地域の伝統や文化をよりよくする方法を考える②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域における伝統や文化を知る。 ・自分の地域の伝統や文化をよりよくするうえで、どんな視点や取組が必要となるかを考える。 	
<p>課題解決のために情報を集めて、自分の考えをつくる②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域と他の地域の伝統や文化について、ポイント1 比較、検討する過程から課題を見つける。 ・様々な課題からどの視点で進めるか、個人や学級で検討、協議して決める。 ・課題解決に必要な情報を集め、自分の考えをもつ。 	<p>多面的・多角的に 考える</p>
<p>自分の考えを、他の人との協議を通して深める②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現し、他の人に伝える。ポイント2 ・異なる意見や他者の考えを聞き、自分の考えにはない視点や新たな考えをもつ。 	<p>自分の考えを 再構築する</p>
<p>地域に関して、伝統や文化のこれからの姿を考える②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議から学んだことで、今後自分たちのできることを考える。 ・今後の対策の方向性として、課題や疑問に感じられるところは何かを考え、解決するための手立てを立てて活動する。 	

2 政治的教養を育むためのポイント

ポイント1

自分たちの地域の文化や伝統を考えるうえで、他の地域の文化や伝統を知ること、多角的な見方や考え方をもちまわらせよう。

社会に主体的に参画していくために、学校での授業において、**生徒の主体的な実践につなげる授業にしていけることが重要**です。

本単元は地域を考えた主体的な子どもの育成につながるよう、**他の地域の文化や伝統との比較の方法が重要**になります。自分の住んでいる地域と他の地域を比べるために、様々な方法を用いることがその後の学習につながります。年表等を使って時系列で変化の様子をまとめたり、思考ツールを活用して思考の方向性を決めて考えたりして、各教科で学習した方法を使うことで、**さまざまな視点をもつことができるように**、場面を設定しましょう。その過程を通して、地域のことを知るだけでなく、地域を自分のこととしてとらえることができるでしょう。

- 調査内容を統計的な手法を使い、目に見える形に整理し、事象の特徴をとらえる。
例) 調べた結果をグラフに表す → 棒グラフ(××におけるゴミの量)、折れ線グラフ(△△の高齢者の人数の変化)、円グラフ・帯グラフ(□□の体力測定結果)等

他の地域の文化や伝統についての**情報をどの側面から提示**するかを工夫し、生徒が学習する際に主体的に課題に取り組めるようにしましょう。地域の文化や伝統を知り、現在にどのようにつながっているかを理解することで、**関心をより高めていく**でしょう。興味や関心から、生徒の気づきがより多くなっていきます。

ポイント2

様々な考えによる協議を重ね、生徒の自主的な考えの再構築を支援していきましょう。

生徒にとって**学校は身近であり、そして多くの考えを出し合える場**とあっていいでしょう。自分の考えをもち、他の人と交流し、協議することは、中学生にとっては政治的な教養を育むべき社会参画の場といえます。この協議を自分のこととしてとらえ、考えを深めるには、意見を発表させるだけでなく、聞く立場としての準備や関わり方を丁寧に指導していくことが重要になります。

- 思考を深め、探究活動を発展するために情報を整理し、考えをより明らかにする。
例) 振り返りカード 新たな情報の整理や視点の明確化等をポイントに再構築する。
 - ・発表から気付いたこと等、情報を整理し、自己の考えと比較・関連させる。
 - ・「もっと知りたいこと」「やってみたいこと」等の視点から、考えを整理する。

生徒一人ひとりの意見を、クラスの中で**話し合える雰囲気**が醸成され、**自分の意見だけに執着せず、他の生徒の意見も聞けるようにすることが大切**です。また、協議の流れにより話し合いの柱がどの方向に進んでいくかを、教員はしっかりと見定めていくことも大切です。